

刻む会 たより

NO. 74

2019年10月1日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・木村道江

事務局

宇部市常盤町一―一九（宇部緑橋教会内）

TEL 0836（21）8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 □座番号 01590・7・32405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円

《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<https://www.chouseitankou.com>

メール

chouseitankou@gmail.com

日韓関係悪化の現状について思う

書記 山内弘恵

皆さんもご存知の通り、現在マスコミなどで日本と韓国の関係が戦後最悪だと言われています。そして、あたかも昨年10月の韓国大法院による元徴用工問題の判決が発端のように報道され、日本政府は報復措置として経済的側面から韓国への攻撃を始めました。韓国側も反発し、地方行政レベルの姉妹交流をも中止する事態となっています。報復に報復が連鎖反応を起こし、泥沼化したこの状態に非常に危機感を抱いています。

問題の力ぎを握る1965年に締結された「日韓基本条約」とそれに基づいた「日韓請求権協定」とは何だったのでしょうか？それは、当時、経済支援が欲しかった韓国政府へ、日本側が経済的資金援助したというもので、戦争の賠償金として支払ったものではありません。この日韓基本条約第2条では、1910年の韓国併合条約の無効を宣言しているのですが、実はその解釈は、2国間で異なった状態のまま結ばれています。問題点は、植民地支配は違法か合法かです。日本は植民地支

配を一環として合法だったと主張しており、反省も、謝罪も行うつもりがありません。あれだけの加害行為を行いつつながら、責任を取ろうとしない原因はここにあります。一方、韓国大法院判決は植民地支配が違法であるという韓国側の立場で被害現実と向き合い、国内外の法律に照らし合わせて出されたもので、何ら安倍政権の言う「国際法、国際約束に違反している」ものではありません。

うとしてきました。その認識に基づき、1995年の村山首相談話や1998年の「日韓パートナーシップ宣言」、2002年の「日朝平壤宣言」の基礎となり、2004年12月、小泉・盧武鉉会談と続きます。

実は、これまでも日本政府自身、一貫して個人による補償請求の権利を否定していませんし、元徴用工問題と同様の中国人強制連行・強制労働問題では、1972年の日中共同声明による中国政府の戦争賠償の放棄後も、2000年花岡・鹿島建設との和解、2009年西松建設との和解、2016年三菱マテリアルとの和解をしてきました。とはいえ、解釈問題がありながらもこの日韓基本条約・日韓請求権協定を締結したことによってこの半世紀、両国間の関係は大きく変化しました。

2004年の首脳会談は、長生炭鉱問題にも大きく関係するものでした。それは日本の地に残された全ての遺骨を韓国・朝鮮へ還すというすばらしい合意でした。この会談を契機として2005年、国は全国の朝鮮半島出身の旧民間徴用者に関する遺骨調査を行い、日本各地で340カ所、2799体の情報を得て、237回の実地調査により2018体を調査し、情報を韓国政府へ伝えていきます。しかしながら、その後、実務レベルでの協議が進まないまま現在止まってしまい、それに業を煮やした宗教者たちを中心に民間での遺骨奉還が先行して行われてきています。

植民地支配が韓国・朝鮮人に損害と苦痛を与えたことを認め、謝罪し、反省すべきだというのが、大方の日本国民の共通認識になりました。韓国国民もその姿勢を評価し、ともに未来に向けて歩も

『刻む会たよりNo.73』でご報告した通り、7/1に、韓国行政安全部遺骸奉還課の課長以下職員3名が来日し、長生炭鉱を視察訪問しました。この課は、韓国国内において、これまで戦争犠牲者に対して不十分だったことを反省し、向き合う

ために作られたものでした。そして、韓国側からは日本政府へ協議の要請をしているにもかかわらず、対応していないのは日本政府の方だったことをお聞きしました。

日韓基本条約・日韓請求権協定は両国関係の基礎として、尊重されるべきです。しかし、日本が戦争でもたらした数々の愚行は、国家間の経済的な約束事で決して「解決済み」にはなりません。被害の回復は事実と向き合い、被害者の気持ちに寄り添うことからしかなしえませんが、日本は戦争加害国だという自覚が必要です。

最後に、長生炭鉱の犠牲者遺族のエピソードを一つ。尹玉基(ユン・オクキ)さんという方がおられます。犠牲者であるお父さんが事故で亡くなった時、尹さんは生まれて6か月でした。お父さんがどこで亡くなったか分からず、ずっと探していて、この長生炭鉱で亡くなったことを知り、それからは毎年追悼集会に参加されています。それまでお父さんを殺した日本をずっと恨みに思っておりましたが、日本にも問題に向き合っている市民団体があることを知り、それまでの恨みが解け、本当に心が穏やかになったそうです。この話を聞いて、長年この運動を続けてきて本当に良かったと思いました。

長生炭鉱問題の解決を通して、日本と韓国との関係は、必ずや良い関係を構築できます。皆様のお力をどうぞお貸してください。今後ともご支援ご協力よろしくお願いいたします

夏の学習会

2019年8月2～4日(金～日)
宇部市市立図書館にて
平和フェスタ2019の一つとして開催しました。



8月3日(土) DVD「紙芝居・アボジは海の底」上映と井上洋子共同代表のお話



8月2～4日(金～日)
1F 展示室にて展示

この夏 各地での取り組み



2019年8月16日(金)～18日(日)
山口市民会館小ホールにて
平和のための戦争展・山口
展示とDVD「紙芝居・アボジは海の底」上映と
井上洋子共同代表のお話(8/17)



2019年8月24(土) 西岐波まつり
床波駅前の宮本輝男委員の事務所にて
パネル展示を行いました。



2019年8月26日(月) 広島県民文化センター 地下展示場にて
平和のための広島の戦争展
DVD「紙芝居・アボジは海の底」上映と井上洋子共同代表のお話。
急遽、一角にパネル展示のコーナーを作ってくださいました。

2019アジア太平洋の平和と繁栄のための 国際会議報告

共同代表 井上 洋子

主催 韓国京畿道・(社)アジア太平洋平和交流協会
期日 2019年7月26日(金)
場所 フィリピンマニラ「コンラッド」ホテル

(社)アテ平和交流会から招待を受け、「刻む会」から共同代表の井上洋子と事務局長の小畑太作が出席した。日本からはプロレスラーだった故「力道山」夫人の田中敬子さんや元皇族の梨本隆夫さん、朝鮮学校でボクシングを教えている飯田幸治さん等多彩な顔触れで、9名が同行した。

26日午後から開催された大会は、韓国京畿道、フィリピン政府各界の代表等から歓迎の挨拶があり、続いてアテの安富洙会長は「日本軍の性奴隷とされた方々に対し、日本国の誠実な謝罪が必要であり、ユニバーサルな人権的課題としてとりくむべき」とあいさつされた。

続いて、朝鮮民主主義人民共和国の代表があいさつにたち、マスコミの取材も最高潮に達していたが、この辺からは日本語同時通訳がうまく反映されず、ハングルに不慣れな私たちは最後まで雰囲気ではか体感できず、発言内容はほとんど理解不能となり残念でならない。

特別ゲストとして、日本軍の性奴隷とされた「イ・ヨンス」ハルモニとフィリピンのハルモニが登場し、日本政府の誠実な謝罪を求め、やり場のない怒りに時に声を荒げながら発言されていたが、後の交流で「イ・ヨンス」ハルモニと触れ合うことができた。

「刻む会」からは小畑事務局長が長生炭鉱遺骨問題について、事故の概要、活動の紹介をし、遺骨を犠牲者の遺族に返すため直接日本政府との交渉を始めたが、元「慰安婦」の方々の救済も含め、日本政府のあり様を糾すためにも「ファン・ボーベン報告書」に基づいた戦争被害者救済に関する国際法を早急に設定することが必要であると訴えた。

印象的だったのは、フィリピン空軍軍曹から「フィリピンでは今も敵と戦っており、一方で交渉もしているが、教育と仕事の提供が政府として必要と感じている」と発言があり、翌日マニラ市内で、日本の戦後のようなブラック地帯を何か所も目の当たりにして、フィリピンという国が持つ格差の問題「貧困」が深刻な課題であることが感じ取れた。

アテの国際大会は多種多様な出席者で構成されていた。一番の環境問題とされているプラスチックごみを粉末化して木の粉末と混ぜて燃やし発電に変えるというクリーンな環境を研究されている大学教授や、済州島の地場産業の発展に貢献している元僧侶の方など、アテ国際大会の「平和と繁栄」というテーマにふさわしい参加者のように思った。戦争を商売の道具にするのではなく、平和があつてこそ共に繁栄をという理念のもと、この集いは、市民はもとより事業者へと広がっていくのだろうと思う。



日本軍の性奴隷とされた「イ・ヨンス」ハルモニとフィリピンのハルモニ

2019年7月19日(金)

韓国からフィールドワークに来てくれました！

こんにちは！

今年の夏強制徴用歴史紀行に行ってきた「蔚山大学生ウリキョレハナ」です！

一番先に行った場所である長生炭鉱は朝鮮人たちの無念で、恨み深い歴史をそのまま見せてくれる場所でした。

「日本帝国主義の侵略戦争のための軍需兵器を作るのに、数多くの朝鮮人たちの死があったという事実に向き合えば、本当に憤り、悲しくもありました。」

日本の近代化が実現したほとんどすべての所には朝鮮人たちの強制徴用がありました。

海の真ん中にそびえているピアを見て、本当に多くの思いがしました。

行きたい故郷にも行けず、会いたい家族にも会えず、飢えたお腹を抱えて働いて亡くなった多くの朝鮮人たちの英霊たちに海に献花すると、波が花を飲み込んで、波の音は朝鮮人たちが泣き叫ぶように聞こえました。

朝鮮の悲しい歴史を多くの人々が記憶して行動しなければならぬと思いました。私たち蔚山大学の学生の一つも忘れずに記憶して行動します。



活動日誌

(前回たより以降)

※太字：詳細は記事にて紹介

7/25(木)27(土) アジア太平洋平和交流協会

フィリピン国際会議

8/2(金)4(日) 平和フェスタ2019

8/3(土) 夏の学習会

8/16(金)18(日) 平和のための戦争展山口

8/24(土) 西岐波まつり

8/26(月) 平和のための戦争展広島(in広島)

8/27(火) 山口朝鮮初中級学校補助金カット

に対する抗議座り込み行動及び座談会、山口県との協議

8/28(水) 駐広島大韓民国総領事来訪

8/31(土) 第5回運営委員会

9/1(日) 関東大震災朝鮮人虐殺96周年追悼

のつどい(都立横綱町公園内追悼碑前)

9/5(木) 長生炭鉱追悼ひろば草刈

9/7(土) 関東大震災時朝鮮人虐殺96周年神

奈川追悼会(横浜市・久保山墓地)

9/11(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カット

に対する抗議座り込み行動及び座談会

9/12(木) 第6回運営委員会

9/15(日) 真相究明ネットワーク事務局会議

(in神戸)

事務局報告（2019年7月16日～2019年9月22日）

事務局長 小畑太作

運営委員会会議開催

第5回 8/31 欠席3名。
第6回 9/12 欠席4名。

会員動静

正会員 114名（当年度総会比+3名）
賛助会員 249名（当年度総会比+12名）
寄付者 95名（当年度総会比+1名）

学習会等

- ・サンキュウクラブ学習会 委員を派遣
7/18 木「小倉」
- ・ウリキョレハナ運動本部FW対応
7/19 金
- ・夏の学習会（平和フェスタ2019）開催
8/2 金～4 日
- ・平和のための戦争展山口 委員を派遣
8/16 金～18 日
- ・平和のための戦争展広島 委員を派遣
8/26 月

他団体との連携

- ・アジア太平洋平和交流協会フィリピン
国際会議 委員を派遣
7/25 木～27 土
- ・関東大震災朝鮮人虐殺96周年追悼の集
い 東京在住会員を派遣
9/1 日 13時

- ・関東大震災時朝鮮人虐殺96年神奈川追
悼会 同前
9/7 土 10時

- ・真相究明ネットワーク事務局会議 委員
派遣
9/15 日

- ・立命館大学「コリア研究10号」への寄
稿依頼対応

- ・映像工房・サンガ問合せ対応

追悼ひろば

- ・パンフレット改訂版を検討
- ・壁面空きスペースへの写真資料展示検
討

- ・名板の日焼け改善検討

証言・関係資料収集発行

- ・映像と紙資料のデジタル化の作業継続
- ・韓国出版『角が出た海』の日本語出版
作業継続
- ・紙芝居「アボジは海の底」のオリジナ
ル映像化作業継続
- ・『アボジは海の底』第4集を検討

遺骨等収集

- ・データベース拡充について作業継続
- ・坑口調査検討
- ・日本政府への要望書検討

ピーヤの保存

- ・所有権を巡る権利義務について検討

山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題

- ・朝鮮学校を支援する山口県ネットワー
クの加盟団体として、県知事（原則毎
月第2水曜日）と下関市長（原則毎月
第4火曜日）への要請行動に参加。
- ・ネットワークのHPと会計を引き続き担
当。

その他

- ・ホームページ拡充と他言語対応を検討
作業
- ・会報誌『刻む会たより』発行と準備
FWの拡充を検討
- ・朗読劇再演検討と依頼実施。
- ・駐広島大韓民国総領事来訪対応
8/28 水
- ・西岐波祭参加・展示 8/24 土



会計報告（2019/07/01～2019/08/31）

【一般会計】

（円）

	科 目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
	歳入					
1	会費	520,000	50,000	359,000	71.8%	
2	寄付金	1,000,000	128,600	395,729	39.6%	※
3	物販	40,000	10,950	24,250	73.5%	
	証言・資料集	30,000	5,000	14,300	57.2%	
	その他	10,000	5,950	9,950	124.4%	
4	雑収入	5,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	0	0	11,306		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,565,000	189,550	790,285	51.0%	

	歳出					
1	事務費	60,000	6,150	16,387	25.2%	
2	広報費	220,000	55,588	90,582	37.7%	たより印刷送料他
3	会議費	30,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	381	1,533	15.3%	電気代
5	活動費	980,000	119,190	174,597	16.8%	
	学習会等	180,000	64,810	67,046	74.5%	夏の学習会他
	追悼集会	600,000	0	0	0.0%	
	その他活動	200,000	54,380	107,551	35.9%	証券資料集追加発刊他
6	他団体会費等	45,000	5,000	15,000	50.0%	真相究明ネット
7	雑支出	35,000	1,050	18,328	45.8%	
	手数料	25,000	1,050	18,328	61.1%	
	その他	10,000	0	0	0.0%	
8	予備費	50,000				
9	特別会計へ繰出	135,000	0	0	0.0%	
	小 計	1,430,000	187,359	316,427	21.0%	
10	繰越金	0	2,191	473,858		
	合 計	1,565,000	189,550	790,285	51.0%	

※ 寄付者（敬称略）

李 成 基 呉 英 義 金 順 子 国村 勝 古賀 明江 駒田 和幸 白川 猶子
朴 相 吉 宮田 幸好 本吉 真希 吉鶴 猛 医療生活協同組合健文会
（その他匿名 7 件）

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,605,224				
繰入金	0		繰越金	1,605,224	
合 計	1,605,224		合 計	1,605,224	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,898,945		DNA 鑑定	29,160	2 名分
繰入金	0		繰越金	1,869,785	
	1,898,945		合 計	1,898,945	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

書籍のご案内

事務局で取り扱っている書籍のご案内です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください！

真相究明ネットワーク発刊
「明治日本の産業革命遺産」
と強制労働
500 円



証言資料集 全3冊
絶賛！好評発売中！
頒布価格 1冊 300 円
2冊セットで 500 円
3冊セットで 700 円



韓国・真相糾明委員会発刊書籍

←『日本の長生炭鉱水没事故に関する報告書』
ご希望の方はカンパ 1000 円でお送りします。

『委員会活動結果報告書』（日本語版）→
ご希望の方は、カンパ 300 円（送料込）でお送り
します。



2020 年 78 周年追悼集会について 速報

遺族会と相談したところ、2020 年 2 月 1 日(土) 開催予定と
することが決まりました。詳細は次号でお伝えします！

「刻む会」は現在
会員 500 名を目
指しています！

● 知人・友人にぜひ
一声お願いします
す！

たより同封物

・ 振替用紙

今後の予定

10 月 17 日(木) 第 7 回運営委員会

10 月 25 日(金) 10:00~12:00 第 44 回長生炭鉱水没事故問題解決協議会

宇部市総合福祉会館2F ボランティアセミナールーム(小)

※参加される方は 9:45 までに 1F ロビーに集合してください。

他団体主催で今後予定されている関連イベント

10 月 10 日(木)~11 日(金) 大韓民国人売岐市芦辺港遭難者日韓合同慰霊祭 会場:売岐・天徳寺(参加)

10 月 12 日(土) 山口県退職教職員協議会下関支部学習会 (講師派遣)

10 月 19 日(土) 山口県退職教職員協議会「道しるべの会」学習会 (協力及び参加)
10:30~15:30 小郡地域交流センター

10 月 19 日(土) 大嶺炭鉱についての FW(参加)

10 月 19 日(土) 広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会 和解 10 周年記念集会(参加)
14:00~17:00 会場:広島弁護士会館 2階大会議室

10 月 20 日(日) 第 12 回「中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い」(参加)

13:30~14:30 会場:「安野中国人受難之碑」の前(安芸太田町坪野 中国電力安野発電所)

10 月 27 日(日) 「日韓請求権協定のほんとうの姿とは」(講師:山本晴太さん) (参加)

10:00~ 会場:下関労働教育センター